



2022年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月4日
上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社
 コード番号 4958 URL <https://www.t-hasegawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 海野 隆雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 中村 稔 TEL 03-3241-1151
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第1四半期の連結業績（2021年10月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第1四半期	14,295	17.5	1,614	60.0	1,758	64.5	1,217	△23.2
2021年9月期第1四半期	12,164	△1.4	1,009	△18.5	1,068	△20.4	1,583	35.1

(注) 包括利益 2022年9月期第1四半期 1,235百万円 (△21.0%) 2021年9月期第1四半期 1,563百万円 (△29.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第1四半期	29.60	29.50
2021年9月期第1四半期	38.19	38.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第1四半期	119,257	98,721	82.4
2021年9月期	120,945	98,301	81.1

(参考) 自己資本 2022年9月期第1四半期 98,321百万円 2021年9月期 98,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	-	22.00	-	33.00	55.00
2022年9月期	-	-	-	-	-
2022年9月期(予想)	-	29.00	-	30.00	59.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,200	6.2	7,630	11.2	8,090	8.4	7,290	7.8	177.37

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年9月期1Q	42,708,154株	2021年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	2022年9月期1Q	1,562,622株	2021年9月期	1,608,431株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年9月期1Q	41,111,163株	2021年9月期1Q	41,477,860株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、変異株を含む感染症の動向が国内外の経済活動に与える影響が懸念され、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

また、2020年12月に新たに連結子会社となった米国のMISSION FLAVORS & FRAGRANCES, INC. (以下、MISSION社)の業績が当社グループの連結経営成績に寄与いたしました(前年第1四半期は実績なし)。

なお、非連結子会社としておりましたタイ子会社であるT. HASEGAWA (SOUTHEAST ASIA) CO., LTD. 及び台湾子会社である台湾長谷川香料股份有限公司の当社グループにおける重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より新たに連結の範囲に含めております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は14,295百万円(前年同期比17.5%増)と増収となりました。なお、当社単体の売上高は前年同期比6.5%の増収、主要な海外連結子会社の売上高は、米国子会社(MISSION社を含む)が前年同期比63.8%の増収(現地通貨ベースでは同50.5%の増収)、中国子会社が前年同期比25.2%の増収(現地通貨ベースでは同11.4%の増収)、マレーシア子会社が前年同期比35.9%の増収(現地通貨ベースでは同27.3%の増収)となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、米国子会社(MISSION社を含む)及び中国子会社の売上増加、並びにタイ子会社及び台湾子会社を新たに連結の範囲に含めたことを主因に前年同期比18.5%増加し、12,223百万円となりました。

フレグランス部門は、当社単体の売上が増加したことを主因に前年同期比11.8%増加し、2,071百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は、人件費の増加、並びにMISSION社ののれん等の償却額の計上等に伴い、販売費及び一般管理費が増加したものの、売上増及び売上原価率の改善による売上総利益の増加を主因に前年同期に比べ605百万円(60.0%)増加し、1,614百万円となりました。経常利益は前年同期に比べ689百万円(64.5%)増加し、1,758百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益は増加したものの、前年同期は投資有価証券売却益1,137百万円を特別利益に計上していたことから、特別利益の減少を主因に、前年同期に比べ366百万円(23.2%)減少し、1,217百万円となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高等を含めて表示しております。

(日本)

売上高は9,257百万円(前年同期比6.5%増)、セグメント利益は1,071百万円(前年同期比104.9%増)となりました。

(アジア)

売上高は3,170百万円(前年同期比46.0%増)、セグメント利益は580百万円(前年同期比41.0%増)となりました。

(米国)

売上高は2,458百万円(前年同期比62.3%増)、セグメント損失は3百万円(前年同期は59百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が802百万円減少した一方で、商品及び製品が337百万円、原材料及び貯蔵品が385百万円それぞれ増加しました。これらを主因として、流動資産は前連結会計年度末に比べ152百万円減少し、55,089百万円となりました。

(固定資産)

前連結会計年度末に比べ、投資有価証券が2,164百万円減少した一方で、有形固定資産その他に含まれる建設仮勘定が519百万円増加したことなどを主因にして、固定資産は前連結会計年度末に比べ1,535百万円減少し、64,167百万円となりました。

(流動負債)

前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金が526百万円増加した一方で、未払法人税等が1,066百万円、賞与引当金が1,049百万円それぞれ減少しました。これらを主因として、流動負債は前連結会計年度末に比べ1,231百万円減少し、10,372百万円となりました。

(固定負債)

前連結会計年度末に比べ、退職給付に係る負債が111百万円増加した一方で、長期未払金が403百万円、繰延税金負債が569百万円それぞれ減少したことを主因に、固定負債は前連結会計年度末に比べ877百万円減少し、10,162百万円となりました。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が195百万円、為替換算調整勘定が1,454百万円、それぞれ増加した一方で、その他有価証券評価差額金が1,467百万円減少しました。これらを主因として、純資産合計は前連結会計年度末に比べ420百万円増加し、98,721百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,037	18,235
受取手形及び売掛金	17,063	17,232
有価証券	3,999	3,999
商品及び製品	7,516	7,854
仕掛品	120	35
原材料及び貯蔵品	6,444	6,829
その他	1,077	917
貸倒引当金	△17	△15
流動資産合計	55,242	55,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,977	15,926
その他(純額)	14,117	14,638
有形固定資産合計	30,094	30,564
無形固定資産		
のれん	6,043	6,021
その他	10,670	10,826
無形固定資産合計	16,713	16,848
投資その他の資産		
投資有価証券	17,930	15,765
退職給付に係る資産	21	21
その他	998	1,021
貸倒引当金	△55	△53
投資その他の資産合計	18,894	16,754
固定資産合計	65,703	64,167
資産合計	120,945	119,257
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,000	5,526
未払法人税等	1,653	586
賞与引当金	1,550	501
役員賞与引当金	59	—
その他	3,340	3,758
流動負債合計	11,604	10,372
固定負債		
繰延税金負債	2,643	2,074
退職給付に係る負債	7,314	7,425
資産除去債務	63	63
長期末払金	629	226
その他	388	373
固定負債合計	11,040	10,162
負債合計	22,644	20,535

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,305	7,306
利益剰余金	76,107	76,303
自己株式	△2,630	△2,555
株主資本合計	86,147	86,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,272	8,804
為替換算調整勘定	1,852	3,307
退職給付に係る調整累計額	△221	△209
その他の包括利益累計額合計	11,903	11,903
新株予約権	250	190
非支配株主持分	—	209
純資産合計	98,301	98,721
負債純資産合計	120,945	119,257

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
売上高	12,164	14,295
売上原価	7,379	8,455
売上総利益	4,784	5,839
販売費及び一般管理費	3,775	4,224
営業利益	1,009	1,614
営業外収益		
受取利息	30	38
受取配当金	26	24
為替差益	—	64
その他	29	22
営業外収益合計	85	149
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	22	—
その他	2	4
営業外費用合計	26	6
経常利益	1,068	1,758
特別利益		
投資有価証券売却益	1,137	—
特別利益合計	1,137	—
特別損失		
固定資産廃棄損	3	4
特別損失合計	3	4
税金等調整前四半期純利益	2,203	1,754
法人税等	619	521
四半期純利益	1,583	1,232
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,583	1,217

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,583	1,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△140	△1,467
為替換算調整勘定	107	1,457
退職給付に係る調整額	12	12
その他の包括利益合計	△20	2
四半期包括利益	1,563	1,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,563	1,216
非支配株主に係る四半期包括利益	—	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったT.HASEGAWA(SOUTHEAST ASIA)CO.,LTD.及び台湾長谷川香料股份有限公司の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、従来、販売費及び一般管理費に計上しておりました販売手数料等の顧客に支払われる対価の一部について、取引価格から減額する方法に変更しております。なお、変動対価が含まれる取引については、その不確実性が事後的に解消される際に、収益の著しい減額が発生しない可能性が高い部分に限り、取引価格に含めております。また、買戻し契約に該当する有償支給取引については、金融取引として有償支給先に残存する支給品について棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高相当額について「有償支給取引に係る負債」を認識しております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高への影響は軽微であります。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,549	2,129	1,486	12,164	—	12,164
セグメント間の内部売上高 又は振替高	145	41	27	215	△215	—
計	8,694	2,171	1,514	12,380	△215	12,164
セグメント利益	523	411	59	993	15	1,009

- (注) 1. セグメント利益の調整額15百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額16百万円、棚卸資産の調整額△0百万円、その他△0百万円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
香料事業(注) 3	8,732	3,128	2,434	14,295	—	14,295
顧客との契約から生じる収益	8,732	3,128	2,434	14,295	—	14,295
外部顧客への売上高	8,732	3,128	2,434	14,295	—	14,295
セグメント間の内部売上高 又は振替高	525	42	23	590	△590	—
計	9,257	3,170	2,458	14,885	△590	14,295
セグメント利益又は損失(△)	1,071	580	△3	1,649	△34	1,614

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△34百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額25百万円、棚卸資産の調整額△56百万円、その他△2百万円であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 香料事業はフレーバー、フレグランス等の製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報は記載しておりません。

なお、当第1四半期連結会計期間において、非連結子会社であったT. HASEGAWA (SOUTHEAST ASIA) CO., LTD. 及び台湾長谷川香料股份有限公司を新たに連結の範囲に加えたため、当該2社を報告セグメント「アジア」に含めております。